

中小企業景況調査について

1 調査目的

この調査は、半期毎に清須市商工会が行う中小企業景況調査から、同地区内における経済動向等に関する情報の分析を行い、効果的な経営支援の実施ならびに事業活動の参考とすることを目的とする。

2 調査要領

(1) 調査対象時期

令和2年4月から令和2年9月の上半期を対象とし、調査時点は令和2年11月13日。

(2) 調査対象企業






清須市商工会地区内76企業。

内訳は、製造業14企業、建設業13企業、小売業17企業、飲食業18企業、サービス業14企業。

(3) 各調査項目の数字及び記号の説明

本報告書の中のDIとは、景気動向指数と呼ばれるもので、各項目調査についての増加(上昇、好転)企業割合から減少(低下、悪化)企業割合を差し引いた数値。

この数値と記号の関係については下記の通り。

雨	曇りのち雨	曇り	晴れのち曇り	晴れ
				
△100.0～△60.1	△60.0～△20.1	△20.0～20.0	20.1～60.0	60.1～100.0

中小企業景況調査報告書(清須市概略版)

(令和2年4月～令和2年9月期実績、令和2年10月～令和3年3月期見通し)

1 清須市商工会地区内における産業全体景況

産業全体はすべての指標が3期連続で低下

今期の産業全体の景況は、売上額DIが-63.2、採算DIが-52.6、資金繰りDIが-31.6となり、対前期比でそれぞれ-48.7ポイント、-32.3ポイント、-14.2ポイント低下し、すべての指標が悪化した。新型コロナウイルス感染症（以後、コロナと呼ぶ）の影響により、調査開始以来、最悪の結果となった。

産業別では、飲食業の指標が最も悪い結果となった。コロナの影響による生活様式の変化、消費者ニーズの変化等、従来のビジネスモデルが機能していない。

次期は、売上高DI、採算DIが若干改善、資金繰りDIは更に悪化する見通しであり、今後もコロナの影響を受け、引き続き厳しい状況が続く見通しである。

産業全体の主要3DIの対前年同期比推移

・売上額DI	-63.2% (対前年比 -59.0 悪化)	次期予想	-59.2% (対前年比 -44.7 悪化)
・採算DI	-52.6% (対前年比 -41.3 悪化)	次期予想	-46.1% (対前年比 -25.8 悪化)
・資金繰りDI	-31.6% (対前年比 -24.6 悪化)	次期予想	-36.8% (対前年比 -19.4 悪化)

産業全体景況天気図

総評



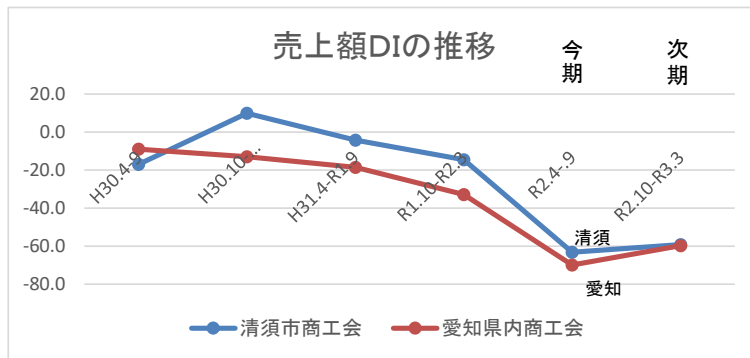
時期	売上額DI		採算DI		資金繰りDI	
30年4月～9月		-16.9%		-5.6%		-7.0%
30年10月～31年3月		9.9%		7.0%		-1.4%
31年4月～1年9月		-4.2%		-11.3%		-7.0%
1年10月～2年3月 (前期)		-14.5%		-20.3%		-17.4%
2年4月～2年9月 (今期)		-63.2%		-52.6%		-31.6%
2年10月～3年3月 (見通し)		-59.2%		-46.1%		-36.8%

※DI値内の矢印は前期からの動きを示したものです。

2 愛知県内商工会（愛知県）と清須市商工会（清須市）との比較

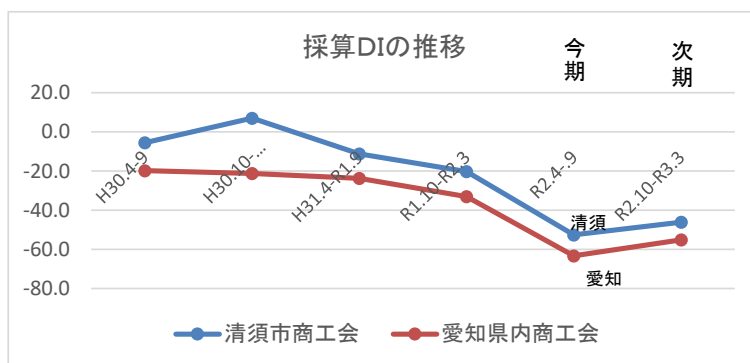
①売上額DI

清須市、愛知県共に、今期はコロナの影響で急激に悪化し、ほぼ同様の動きとなっている。
次期は清須市、愛知県共に、今期同様低い水準で横ばいの見通しである。



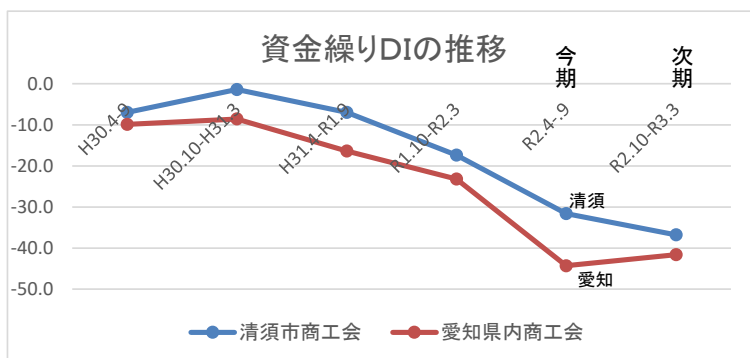
②採算DI

清須市、愛知県共に、今期はコロナの影響で急激に悪化し、同様の動きだが、清須市の指標が若干高い。
次期は清須市、愛知県共に、今期同様低い水準で横ばいの見通しである。



③資金繰りDI

清須市、愛知県と比較すると、今期は愛知県が急激に悪化した、清須市は緩やかに悪化している。
次期は清須市が更に悪化し、愛知県は改善の方向で差が縮まるが、双方共に低い水準の見通しである。



【全産業平均】

売上額DIの推移

時期	H30.4-9	H30.10-H31.3	H31.4-R1.9	R1.10-R2.3	今期 R2.4-9	次期 R2.10-R3.3
清須市商工会	-16.9	9.9	-4.2	-14.5	-63.2	-59.2
愛知県内商工会	-9.0	-13.0	-18.5	-32.8	-69.9	-59.8

採算DIの推移

時期	H30.4-9	H30.10-H31.3	H31.4-R1.9	R1.10-R2.3	今期 R2.4-9	次期 R2.10-R3.3
清須市商工会	-5.6	7.0	-11.3	-20.3	-52.6	-46.1
愛知県内商工会	-19.8	-21.3	-23.8	-33.0	-63.3	-55.1

資金繰りDIの推移

時期	H30.4-9	H30.10-H31.3	H31.4-R1.9	R1.10-R2.3	今期 R2.4-9	次期 R2.10-R3.3
清須市商工会	-7.0	-1.4	-7.0	-17.4	-31.6	-36.8
愛知県内商工会	-9.9	-8.6	-16.4	-23.2	-44.3	-41.6

※愛知県内商工会の数値は、愛知県商工会連合会が作成する中小企業景況調査報告書（愛知県概略版）から引用

3 業種別景況

(1) 製造業

製造業はすべての指標が悪化

製造業では、売上額DIが-50.0、採算DIが-42.9、資金繰りDIが-42.9となり、対前期比それぞれ-58.3ポイント、-42.9ポイント、-9.6ポイント悪化した。特に、売上高DI、採算DIが大幅に悪化している。

前期は、売上高DI、採算DIは改善していたが、当期はコロナの影響により、売上額DI、採算DIが大幅に悪化した。資金繰りDIも悪化している。

次期は、売上額DIが更に悪化する見通し、採算DIは若干の改善、資金繰りDIは横ばいの見通しで、引き続きコロナの影響により低迷する見通しである。

主要3DIの対前年同期比推移

・売上額DI	-50.0% (対前年比 -34.6 悪化)	次期予想	-57.1% (対前年比 -65.4 悪化)
・採算DI	-42.9% (対前年比 -12.1 悪化)	次期予想	-35.7% (対前年比 -35.7 悪化)
・資金繰りDI	-42.9% (対前年比 -35.2 悪化)	次期予想	-42.9% (対前年比 -9.6 悪化)

製造業景況天気図



時期	売上額DI		採算DI		資金繰りDI	
30年4月～9月		-33.3%		-13.3%		-20.0%
30年10月～31年3月		20.0%		-13.3%		0.0%
31年4月～1年9月		-15.4%		-30.8%		-7.7%
1年10月～2年3月 (前期)		8.3%		0.0%		-33.3%
2年4月～2年9月 (今期)		-50.0%		-42.9%		-42.9%
2年10月～3年3月 (見通し)		-57.1%		-35.7%		-42.9%

※DI値内の矢印は前期からの動きを示したものです。

(2)建設業

建設業は売上額DI・採算DIが悪化、資金繰りDIは改善

建設業では、売上額DIが-53.8、採算DIが-38.5となり、対前期比でそれぞれ-53.8ポイント、-45.2ポイントと悪化した。資金繰りDIは-15.4となり、対前期比で4.6ポイント改善した。

前期は、売上額DI、資金繰りDIはプラス値の方向にあったが、当期は大幅に悪化した。資金繰りDIは、前期の段階で大幅に悪化していたため、当期は改善の方向となった。

次期は、売上額DI、資金繰りDIが更に悪化、採算DIは横ばいと、今後もコロナの影響を受け、厳しい状況が続く見通しである。

主要3DIの対前年同期比推移

・売上額DI	-53.8 (対前年比 -66.3 悪化)	次期予想	-61.5 (対前年比 -61.5 悪化)
・採算DI	-38.5 (対前年比 -38.5 悪化)	次期予想	-38.5 (対前年比 -45.2 悪化)
・資金繰りDI	-15.4 (対前年比 -27.9 悪化)	次期予想	-38.5 (対前年比 -18.5 悪化)

建設業景況天気図

総評



時期	売上額DI		採算DI		資金繰りDI	
30年4月～9月		0.0%		0.0%		-7.1%
30年10月～31年3月		-7.1%		7.1%		-7.1%
31年4月～1年9月		12.5%		0.0%		12.5%
1年10月～2年3月 (前期)		0.0%		6.7%		-20.0%
2年4月～2年9月 (今期)		-53.8%		-38.5%		-15.4%
2年10月～3年3月 (見通し)		-61.5%		-38.5%		-38.5%

※DI値内の矢印は前期からの動きを示したものです。

(3)小売業

小売業はすべての指標が悪化

小売業では、売上額DIが-58.8、採算DIが-52.9、資金繰りDIが-29.4となり、対前期比でそれぞれ-30.2ポイント、-10.0ポイント、-15.1ポイント悪化した。特に、売上高DIが大幅に悪化している。

前期は、売上額DIが改善に向かっていたものの、コロナの影響により大きく悪化した。採算DIは、前期の段階で消費増税等の影響、コロナの影響により悪化していたが、今期は更に悪化した。資金繰りDIは比較的安定していたものの、悪化に転じている。

次期は、売上額DI、採算DIは若干改善する見通し、資金繰りDIは横ばいの見通しで、今後も厳しい状況が続く見通しである。

主要3DIの対前年同期比推移

・売上額DI	-58.8% (対前年比 -8.8 悪化)	次期予想	-52.9% (対前年比 -24.3 悪化)
・採算DI	-52.9% (対前年比 -31.5 悪化)	次期予想	-47.1% (対前年比 -4.2 悪化)
・資金繰りDI	-29.4% (対前年比 -15.1 悪化)	次期予想	-29.4% (対前年比 -15.1 悪化)

小売業景況天気図

総評



時期	売上額DI		採算DI		資金繰りDI	
30年4月～9月		-30.8%		-15.4%		-7.7%
30年10月～31年3月		-38.5%		-7.7%		-7.7%
31年4月～1年9月		-50.0%		-21.4%		-14.3%
1年10月～2年3月 (前期)		-28.6%		-42.9%		-14.3%
2年4月～2年9月 (今期)		-58.8%		-52.9%		-29.4%
2年10月～3年3月 (見通し)		-52.9%		-47.1%		-29.4%

※DI値内の矢印は前期からの動きを示したものです。

(4) 飲食業

飲食業はすべての指標が悪化

飲食業では、売上額DIが-88.9、採算DIが-77.8、資金繰りDIが-44.4となり、対前期比でそれぞれ-42.2ポイント、-17.8、-24.4ポイント悪化した。業種別の中で、コロナの影響を最も早い段階から受けており、当期は調査開始以来、最悪の結果となった。

30年から景況感は少しずつ改善してきたものの、前期からコロナの影響を受け、急激に悪化していたが、当期は更に悪化した。



















次期は、売上額DI、採算DIは若干改善するものの、資金繰りDIは更に悪化する見通しで、今後も相当厳しい状況が続く見通しである。

主要3DIの対前年同期比推移

・売上額DI	-88.9% (対前年比 -102.2悪化)	次期予想	-77.8% (対前年比 -31.1悪化)
・採算DI	-77.8% (対前年比 -64.5悪化)	次期予想	-66.7% (対前年比 -6.7悪化)
・資金繰りDI	-44.4% (対前年比 -24.4悪化)	次期予想	-50.0% (対前年比 -30.0悪化)

飲食業景況天気図



時期	売上額DI		採算DI		資金繰りDI	
30年4月～9月		-26.7% ↗		-13.3% ↗		-13.3% ↗
30年10月～31年3月		13.3% ↗		13.3% ↗		0.0% ↗
31年4月～1年9月		13.3% →		-13.3% ↘		-20.0% ↘
1年10月～2年3月 (前期)		-46.7% ↘		-60.0% ↘		-20.0% →
2年4月～2年9月 (今期)		-88.9% ↘		-77.8% ↘		-44.4% ↘
2年10月～3年3月 (見通し)		-77.8% ↗		-66.7% ↗		-50.0% ↘

※DI値内の矢印は前期からの動きを示したものです。

(5) サービス業

サービス業はすべての指標が悪化した

サービス業では、売上額DIが-57.1、採算DIが-42.9、資金繰りDIが-21.4となり、対前期比でそれぞれ-57.1ポイント、-42.9、-21.4ポイントと急激に悪化した。

前期までは、すべての指標が0.0で、全産業の中で最も堅調に推移してきたが、当期はコロナの影響を受け、大幅に悪化している。





































次期は、売上額DI、採算DIが若干改善、資金繰りDIは横ばいとの見通しだが、今後もコロナの影響を受け、厳しい状況が続く見通しである。

主要3DIの対前年同期比推移

・売上額DI	-57.1% (対前年比 -72.5 悪化)	次期予想	-42.9% (対前年比 -42.9 悪化)
・採算DI	-42.9% (対前年比 -50.6 悪化)	次期予想	-35.7% (対前年比 -35.7 悪化)
・資金繰りDI	-21.4% (対前年比 -13.7 悪化)	次期予想	-21.4% (対前年比 -21.4 悪化)

サービス業景況天気図



時期	売上額DI		採算DI		資金繰りDI	
30年4月～9月		7.1% 		14.3% 		14.3% 
30年10月～31年3月		57.1% 		35.7% 		7.1% 
31年4月～1年9月		15.4% 		7.7% 		-7.7% 
1年10月～2年3月 (前期)		0.0% 		0.0% 		0.0% 
2年4月～2年9月 (今期)		-57.1% 		-42.9% 		-21.4% 
2年10月～3年3月 (見通し)		-42.9% 		-35.7% 		-21.4% 

※DI値内の矢印は前期からの動きを示したものです。

4 経営上の問題点

今期、直面している経営上の問題点を業種別に示したものである。

今回は、「需要の停滞」、「ニーズの変化への対応」、「取引条件の悪化」等が概ね共通して上がっており、コロナによる影響を表している。

業種	順位	問題点	割合
製造業	1位	需要の停滞	21.4%
	2位	取引条件の悪化	17.9%
	3位	生産設備の不足・老朽化	14.3%
建設業	1位	民間需要の停滞	20.0%
	2位	請負単価の低下・上昇難	16.0%
	3位	取引条件の悪化	12.0%
小売業	1位	需要の停滞	30.8%
	2位	消費者ニーズの変化への対応	15.4%
	2位	仕入単価の上昇	15.4%
飲食業	1位	需要の停滞	22.9%
	1位	利用者ニーズの変化への対応	22.9%
	1位	店舗施設の狭隘	22.9%
サービス業	1位	従業員の確保難	23.1%
	2位	利用者ニーズの変化への対応	19.2%
	3位	需要の停滞	15.4%

5 取り組むべき経営課題

問題の解決に向けた、経営課題を全産業平均及び業種別に示したものである。全産業平均では、「販路開拓」の比率が高く、続いて「新製品開発」、「人材募集」、「設備投資」、「コスト削減」となっている。

業種	順位	経営課題	割合
製造業	1位	販路開拓	36.8%
	2位	人材募集	15.8%
	2位	設備投資・現場改善	15.8%
建設業	1位	人材募集	20.0%
	2位	販路開拓	13.3%
	2位	コスト削減	13.3%
小売業	1位	販路開拓	44.4%
	2位	新製品開発	16.7%
	3位	コスト削減・設備投資	11.1%
飲食業	1位	販路開拓	28.0%
	1位	新製品開発	28.0%
	3位	現場改善	12.0%
サービス業	1位	人材募集	20.0%
	1位	販路開拓	20.0%
	3位	設備投資・コスト削減・現場改善	15.0%
全産業平均	1位	販路開拓	28.9%
	2位	新製品開発	12.4%
	3位	人材募集・設備投資・コスト削減	11.3%